

様式第四 許可申請書（土石の堆積）

土石の堆積に関する工事の許可申請書

【記入例】

宅地造成及び特定盛土等規制法 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">第12条第1項 第30条第1項</span> の規定により、許可を申請します。  令和〇〇年〇〇月〇〇日  前橋市長 殿  申請者 氏名 〇〇建設株式会社 代表取締役 前橋 太郎		※手数料欄
1 工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	群馬県前橋市〇〇町〇〇 〇〇建設株式会社 代表取締役 前橋 太郎 (群馬県前橋市〇〇町〇〇 取締役 前橋 次郎) (群馬県前橋市〇〇町〇〇 取締役 前橋 三郎)	
2 設計者住所氏名	群馬県前橋市〇〇町〇〇 〇〇設計株式会社 前橋 花子	
3 工事施行者住所氏名	群馬県前橋市〇〇町〇〇 〇〇建設株式会社 前橋 四郎	
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	群馬県前橋市〇〇町〇〇 1番1 他〇〇筆 (〇〇の一部) (緯度: 〇〇度〇〇分〇〇.〇秒)、 (経度: 〇〇〇度〇〇分〇〇.〇秒)	
5 土地の面積	〇〇〇.〇〇平方メートル	
6 工事の目的	(例1) 建設資材(砂利)の一時的な堆積 (例2) 〇〇工事で発生する建設発生土を一時的(～令和〇〇年〇〇月)に堆積するため	
7 工事の概要	イ 土石の堆積の最大堆積高さ	〇〇〇.〇〇メートル
	ロ 土石の堆積を行う土地の面積	〇〇〇.〇〇平方メートル
	ハ 土石の堆積の最大堆積土量	〇〇〇.〇〇立方メートル
	ニ 土石の堆積を行う土地の最大勾配	1/20 (〇〇度)
	ホ 勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置	構台を設置する
	ヘ 土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置	(何も無い場合: なし)
ト 空地の設置	番号	空地の幅
	1	〇〇〇.〇〇メートル
	2	〇〇〇.〇〇メートル
チ 雨水その他の地表水を有効に排除する	堆積する土石の周囲に設ける空地の外側に側溝を	

	措置	設置する		
	リ 堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置	鋼矢板を設置する 番号 種類 高さ 延長 1 鋼矢板 4 型 3.0m 20.00m		
	ヌ 工事中の危害防止のための措置	(例 1) 工事区域外周に H=1.8m の侵入防止柵を設置する (例 2) 工事車両の出入口に、ガードマンを配置して交通整理を実施する		
	ル その他の措置	(何も無い場合：なし)		
	ヲ 工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日		
	ヅ 工事完了予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日		
	カ 工程の概要	(例 1) 別紙工程表のとおり (例 2) 仮設工→敷均工→鋼矢板工→排水工 →土砂搬入→撤去		
8 その他必要な事項		(何も無い場合：なし)		
※受付欄	※決裁欄	※許可に当たって付した条件	※許可番号欄	
年月日			年月日	
第号			第号	
係員氏名			係員氏名	
〔注意〕				
1 ※印のある欄は記入しないでください。				
2 申請者、1 欄の工事主、2 欄の設計者又は 3 欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。				
3 1 欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。				
4 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。				
5 4 欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。				
6 7 欄りは、鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。				
7 8 欄は、土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。				